

岩手県感染症週報

平成18年第5週（1月30日～2月5日）

岩手県結核・感染症情報センター

第5週の概要

- 1 類感染症
- 2 類感染症
- 3 類感染症

・患者発生の報告はありませんでした。

- 4 類感染症

- 5 類感染症（全数把握対象疾患）

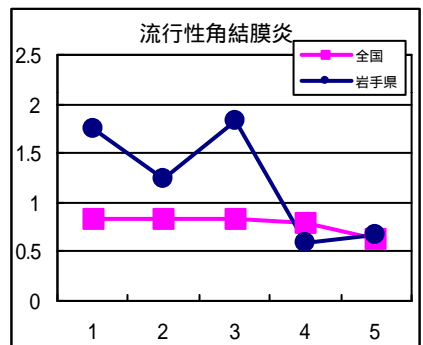
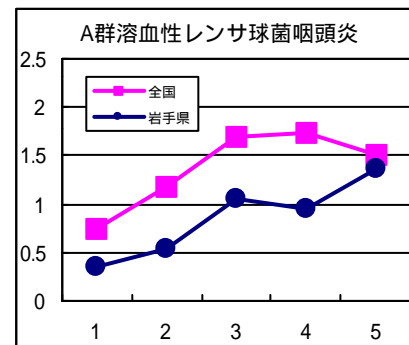
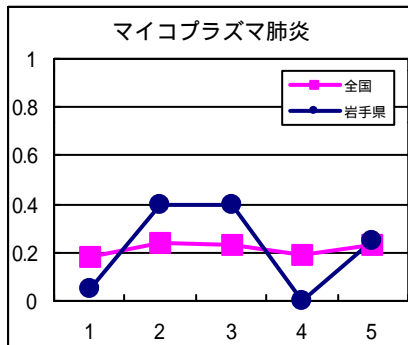
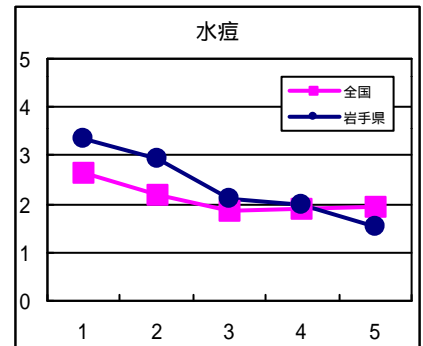
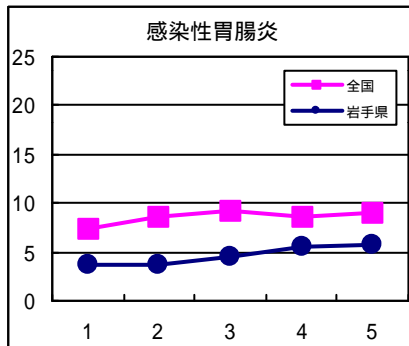
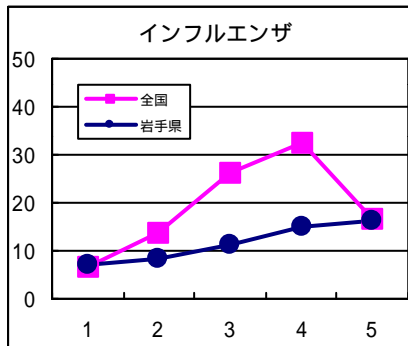
・患者発生の報告はありませんでした。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・インフルエンザは、前週から引き続き患者の発生が続いており、県内63の医療機関からの報告数が1,000人を超えました。この週にもっとも患者数の多い地区は、定点当たり患者数38.7人の大船渡地区であり、この週に警報値（同患者数30.0人）を超えている地区は北上、大船渡の二地区となりました。しかし、前週から患者が増加している地区は、盛岡、大船渡、宮古の三地区のみであり、その他の地区では前週から減少しています。今シーズンのインフルエンザの流行がピークを迎えた可能性もありますが、今後の患者数の動きが注目されます。
- ・溶レン菌咽頭炎は、北上、釜石地区で患者数が増加し、警報値（定点当たり患者数4.0人）を超えました。花巻地区でも前週から引き続き患者が多い状態が続いています。この時期、患者の年齢層は3～7歳が多く、保育所・幼稚園などでの感染予防対策が必要です。
- ・感染性胃腸炎は、前週に患者数が多かった北上地区でやや減少しましたが、盛岡地区からは前週の2倍程度の患者報告がありました。この週には、集団感染事例の報告はありませんでしたが、感染予防のため、職場や家庭での手洗いの徹底が大切です。
健康な大人はノロウイルスなどの病原体に感染しても発症しないことがあり、その場合でも病原体は排出され、比較的免疫力の弱い乳幼児や高齢者に感染させる場合があるので注意が必要です。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		1	2	3	4	5		
インフルエンザ	岩手県	7.14	8.14	11.21	15.08	16.11	↗	
	全国	6.82	13.88	26.21	32.37	16.46		
咽頭結膜熱	岩手県	0.03	0	0.03	0.08	0.03	→	
	全国	0.25	0.24	0.23	0.22	0.21		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.36	0.54	1.05	0.95	1.36	↗	
	全国	0.74	1.17	1.69	1.73	1.5		
感染性胃腸炎	岩手県	3.64	3.67	4.46	5.56	5.69	↗	
	全国	7.28	8.56	9.18	8.56	9.06		
水痘	岩手県	3.33	2.95	2.1	2	1.54	↘	
	全国	2.66	2.21	1.86	1.92	1.95		
手足口病	岩手県	0.13	0.1	0.26	0.41	0.08	↘	
	全国	0.07	0.08	0.08	0.09	0.19		
伝染性紅斑	岩手県	0.03	0.13	0.03	0.21	0.15	→	
	全国	0.17	0.29	0.33	0.32	0.26		
突発性発疹	岩手県	0.36	0.26	0.46	0.46	0.31	→	
	全国	0.39	0.63	0.6	0.57	0.62		
百日咳	岩手県	0	0	0.03	0	0	→	
	全国	0	0	0.01	0	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.18	0.28	0.21	0.23	0.28	→	
	全国	0.02	0.02	0.03	0.03	0.04		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.54	0.54	0.54	0.62	0.31	↘	
	全国	1.45	1.56	1.06	1.05	0.96		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0.17	0	↘	
	全国	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	1.75	1.25	1.83	0.58	0.67	→	
	全国	0.83	0.84	0.83	0.8	0.63		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	984	805			0		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.03		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.03	0.02		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.05	0.4	0.4	0	0.25	→	
	全国	0.18	0.24	0.23	0.19	0.23		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0.02	0.02	0.02	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印：ほとんど患者が発生していません
- ：患者が発生しています
- ↗：警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘：多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）		岩手県						全国	
分類	疾病名	(週)					累計	全国	
		1	2	3	4	5		5	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	1	8
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	10	49
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	5
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	1
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	11	52
四、 五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	5	59
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	5
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	1	25
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	1	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	2	13
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	8
	後天性免疫不全症候群	1	0	0	0	0	1	8	89
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	3
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	2	20
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	3
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	1	0	0	1	8	42
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	4
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	6
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	2	6
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	2	12
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

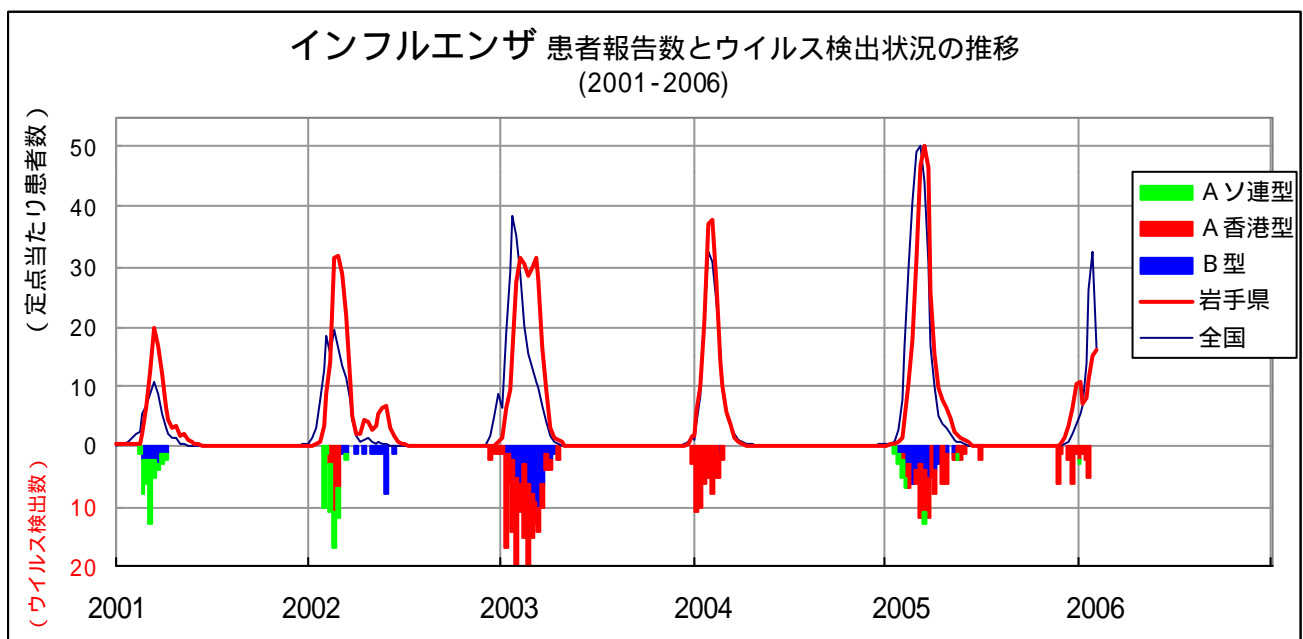
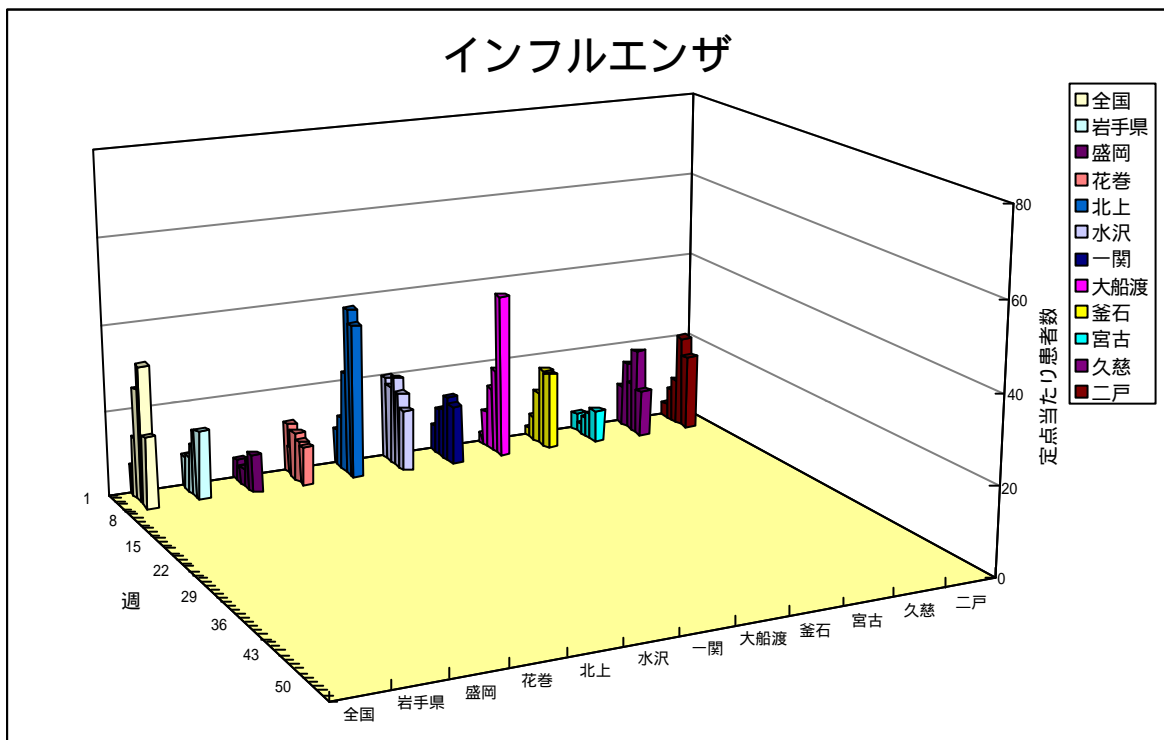
今注目の感染症

インフルエンザ

インフルエンザは、例年、12月頃から患者数が増え始め、2～3月が流行のピークであるが、今シーズンは、盛岡地区では、11月に集団感染による学校閉鎖措置がとられた小学校もあり、例年よりも早い流行状況となっている。

年末年始休などで、一時は患者数が減少したが、1月中旬からは学校などで3学期が始まることもあり、さらに患者は増加することが予想される。

環境保健研究センターの病原体検査では、11月にA香港型、12月にはAソ連型インフルエンザウイルスが分離検出されている。



病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭拭い液からA香港型インフルエンザウイルスを3例分離検出しました。
- ・下気道炎の患者の咽頭拭い液からA香港型インフルエンザウイルスを1例分離検出しました。
- ・上気道炎の患者の咽頭拭い液からアデノウイルス1型を1例分離検出しました。
- ・流行性角結膜炎患者の結膜拭い液からアデノウイルス37型を2例分離検出しました。
- ・流行性角結膜炎患者の結膜拭い液から単純ヘルペスウイルス1型を1例分離検出しました。

医療機関からの情報

盛岡地区の医療機関（小児科から）（2/5 休日当番医）

- ・青山町・津志田方面のインフルエンザ患者が目立った。
- ・飯岡方面で感染性胃腸炎の小児が多い。

集団感染情報

インフルエンザ様疾患による施設閉鎖措置等の状況（2/7まで）

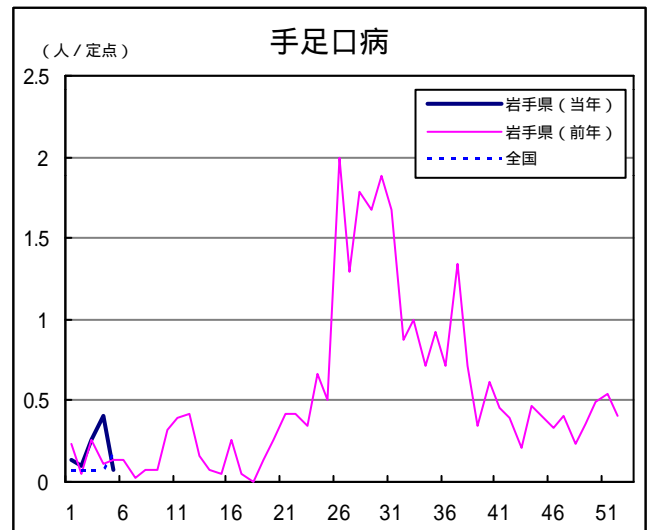
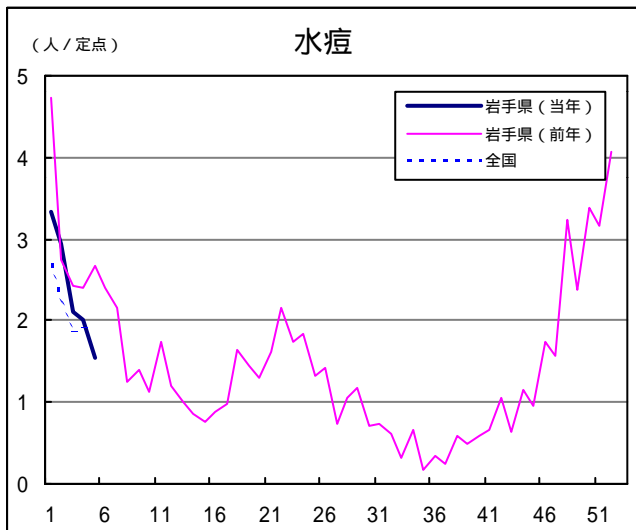
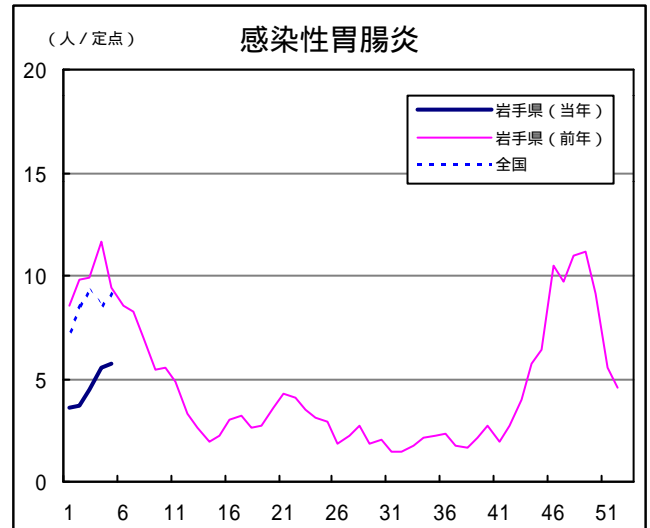
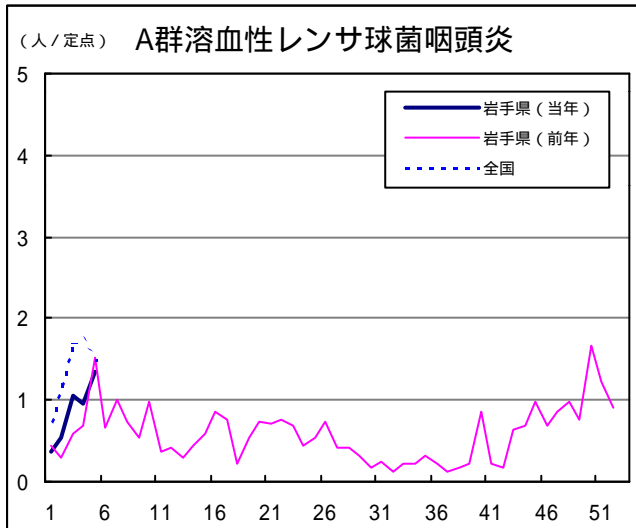
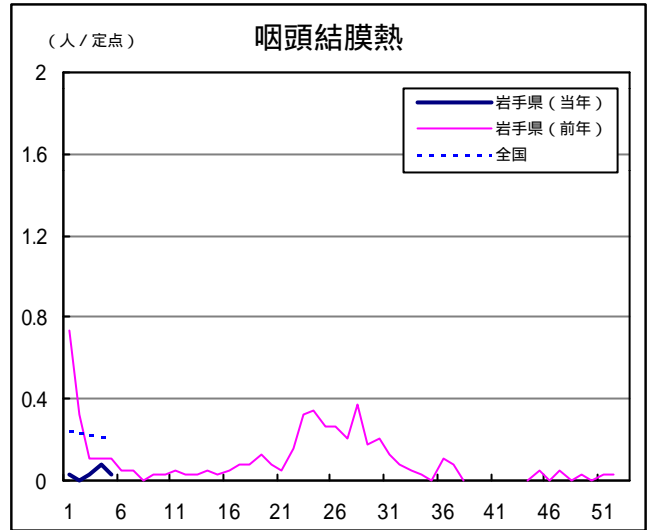
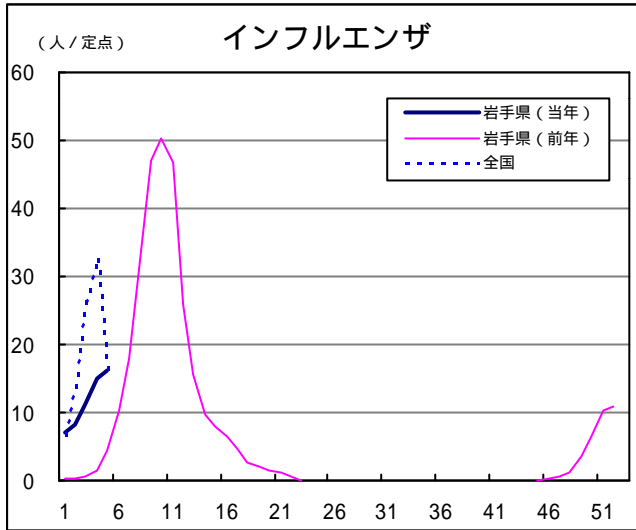
岩手県	盛岡	花巻	北上	水沢	一関	大船渡	釜石	宮古	久慈	二戸
41	14	3	5	2	5	9	0	0	1	2

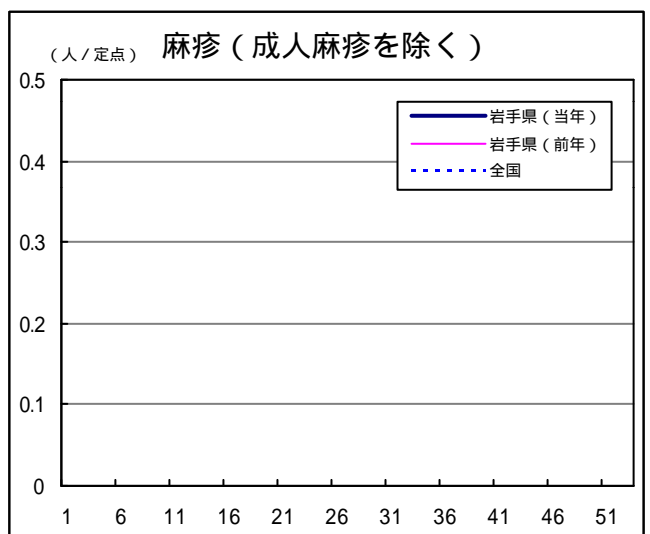
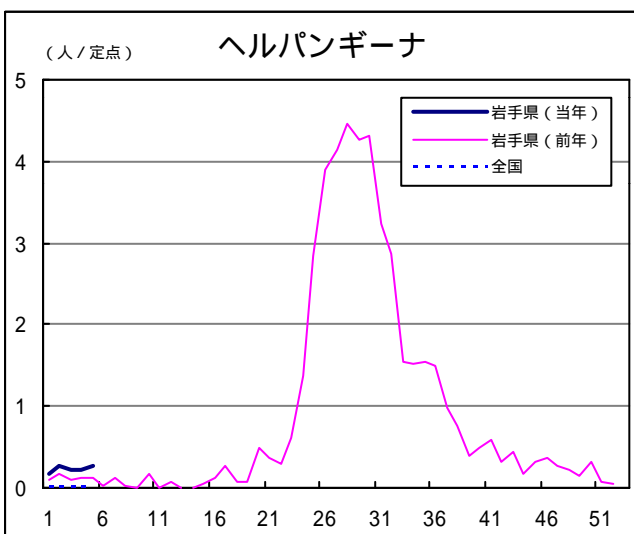
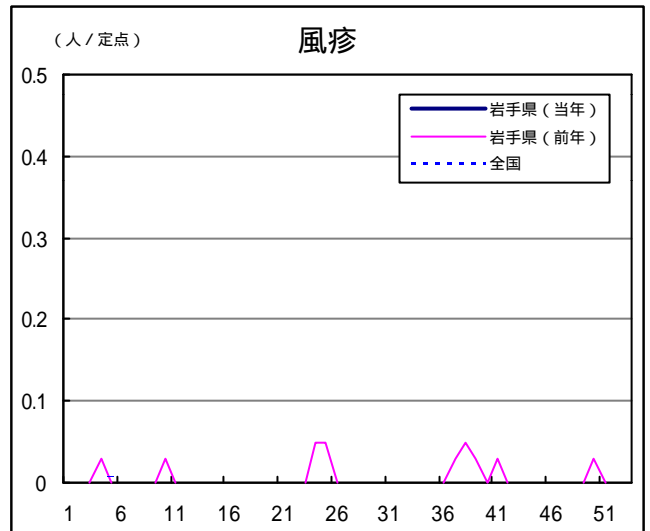
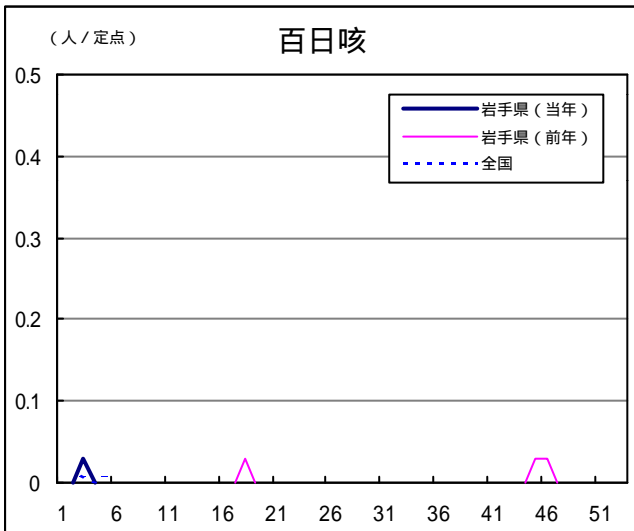
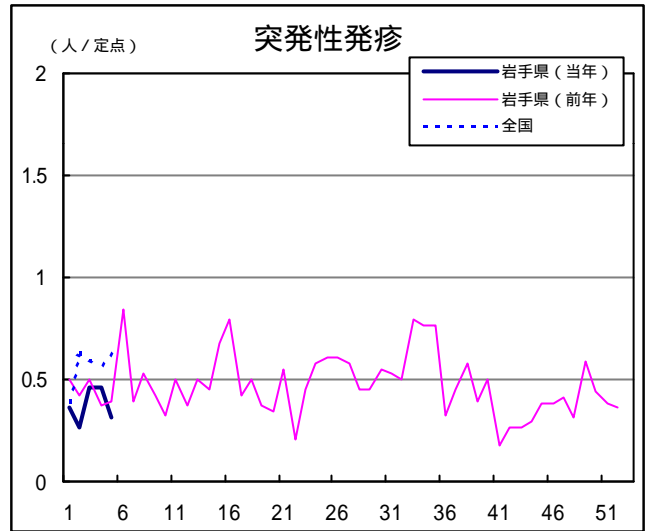
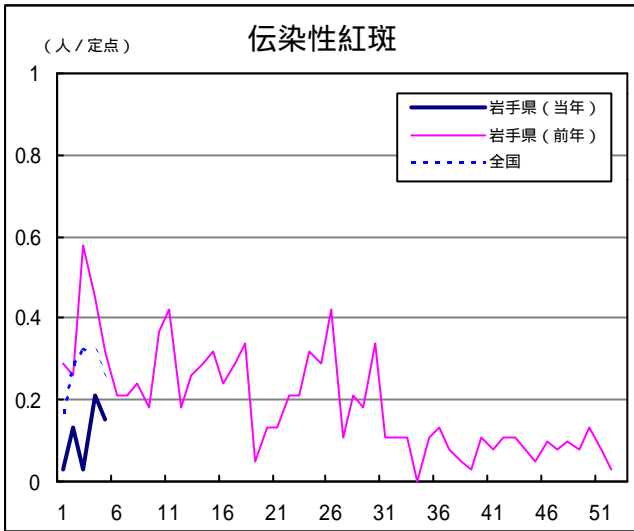
Q & A

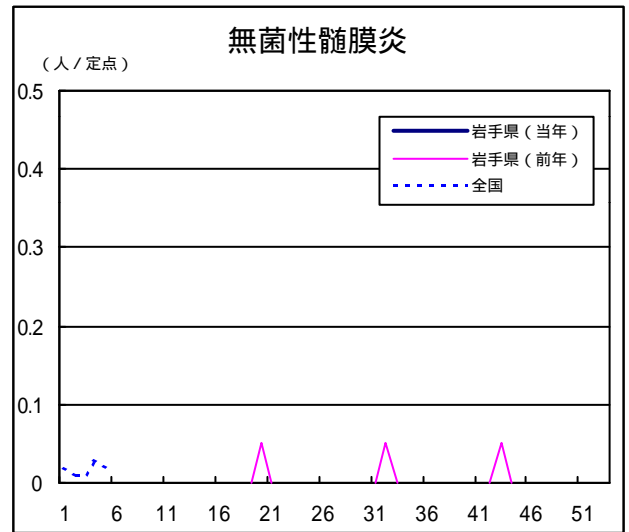
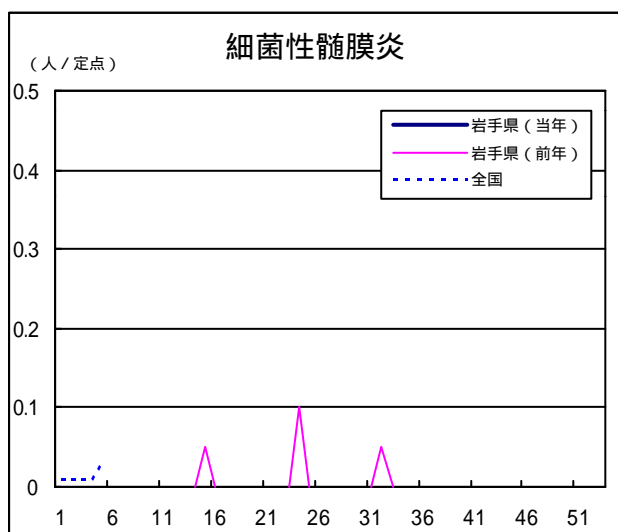
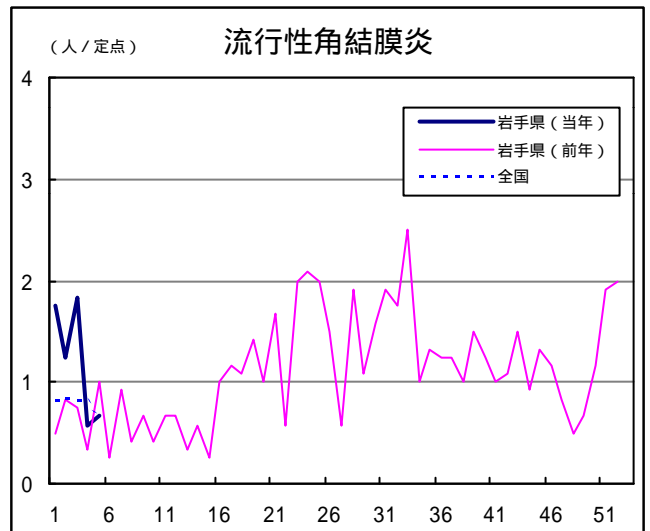
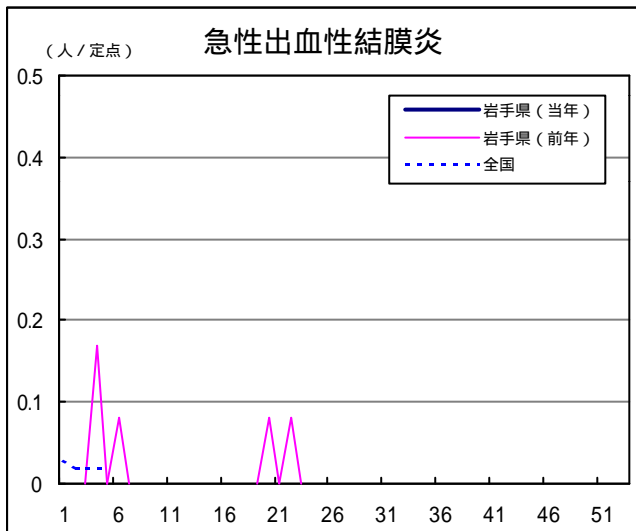
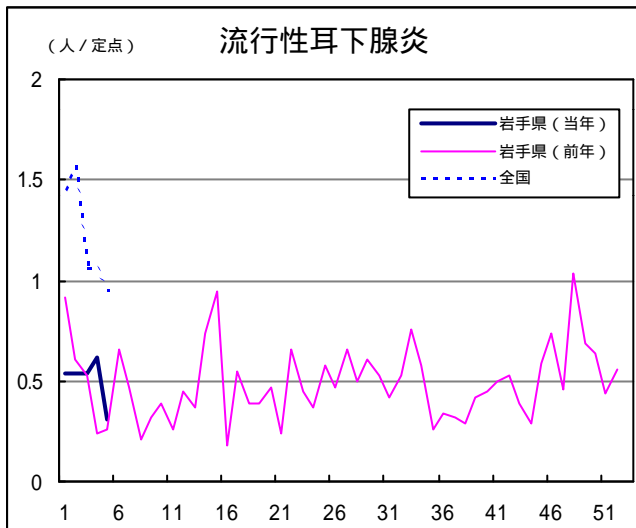
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

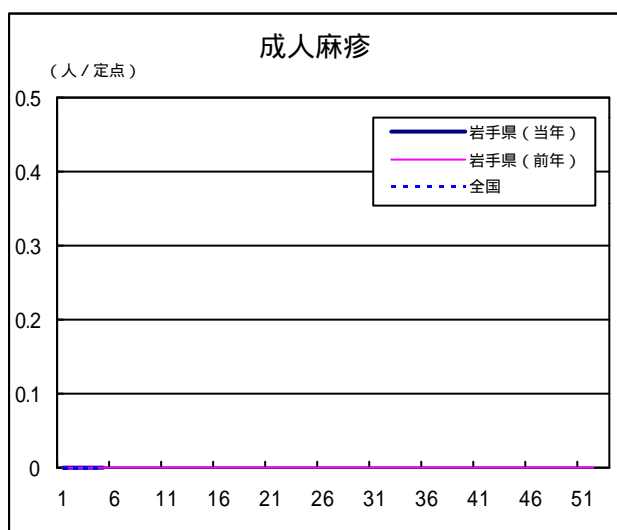
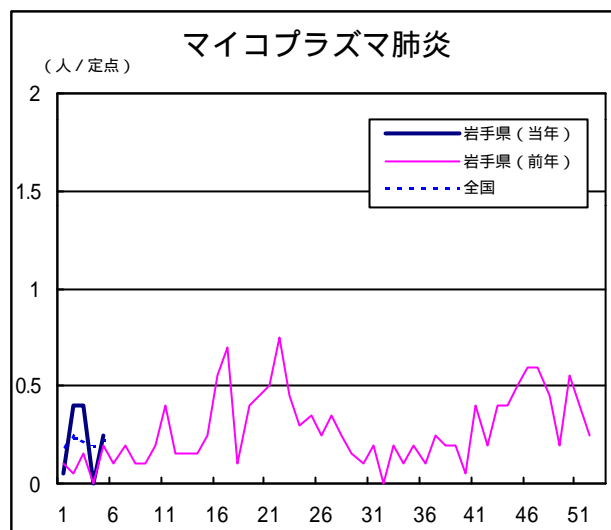
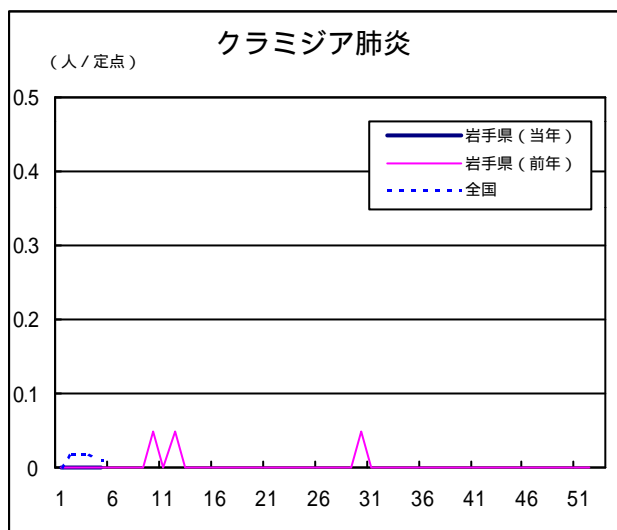
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail:CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	63	39	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成18年第5週 平成18年2月10日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>